

## 安全データシート

作成日 2010年3月1日  
改定日 2024年4月5日 (第7版)

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : 水酸化カルシウム水溶液  
製品コード : -  
化学名 : 水酸化カルシウム水溶液  
会社名 : 大陽日酸北海道株式会社  
住所 : 札幌市白石区東札幌1条2丁目2番16号 オビビル札幌 2階  
担当部門 : 営業部  
連絡先 : Tel ; 011-598-1263 FAX ; 011-598-1267  
URL: <https://www.tnhokkaido.tn-sanso.co.jp/>  
緊急連絡電話番号 : 製造部 苫小牧工場 (電話 0144-55-6071)  
推奨用途 : 酸性廃水の中和処理  
使用上の制限 : 本製品の使用にあたっては該当する各法律、及び次項以降の  
危険有害性情報等に基づき使用すること  
整理番号 : 12-1

## 2. 危険有害性の要約

## ＜GHS分類＞

## 物理化学的危険性

火薬類 : 分類対象外  
可燃性又は引火性ガス : 分類対象外  
可燃性又は引火性エアゾール : 分類対象外  
支燃性又は酸化性ガス : 分類対象外  
高压ガス : 分類対象外  
引火性液体 : 分類対象外  
可燃性固体 : 区分外  
自己反応性化学品 : 分類対象外  
自然発火性液体 : 分類対象外  
自然発火性固体 : 区分外  
自己発熱性化学品物質 : 区分外  
水反応可燃性化学品 : 区分外  
酸化性液体 : 分類対象外  
酸化性固体 : 分類できない  
有機過酸化物 : 分類対象外  
金属腐食性物質 : 分類できない

## 健康に対する有害性

急性毒性 (経口) : 区分外  
急性毒性 (経皮) : 分類できない  
急性毒性 (吸入: ガス) : 分類対象外  
急性毒性 (吸入: 蒸気) : 分類できない  
急性毒性 (吸入: 粉塵、ミスト) : 分類できない  
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 区分2  
眼に対する重篤な損傷性及び眼刺激性 : 区分1  
呼吸器感作性 : 分類できない  
皮膚感作性 : 分類できない  
生殖細胞変異原性 : 分類できない  
発がん性 : 分類できない  
生殖毒性 : 分類できない  
特定標的臓器 (単回ばく露) : 区分1 (呼吸器系)  
特定標的臓器 (反復ばく露) : 区分2 (肺)  
吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

## 環境に対する有害性

水生環境有害性 (急性) : 区分外  
水生環境有害性 (長期間) : 区分外  
オゾン層への有害性 : 分類できない

GHSラベル要素  
絵表示又はシンボル



- 注意喚起語 : 危険
- 危険有害性情報 : 皮膚刺激  
重篤な眼の損傷  
臓器（呼吸器系）の障害  
長期又は反復暴露による肺の障害のおそれ
- 注意書き  
[安全対策] : 安全データシートをよくお読みのうえ作業して下さい。  
ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないで下さい。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないで下さい。  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用して下さい。  
ヒュームを吸入しないで下さい。  
取扱い後はよく手を洗って下さい。
- [応急処置] : 飲み込んだ場合は口をすすいで下さい。無理に吐かせないで下さい。その後気分が悪い時は医師の手当を受けて下さい。  
吸入した場合は空気の新鮮な場所で、呼吸しやすい姿勢で休息させて下さい。その後医師の手当を受けて下さい。  
皮膚に付着した場合は多量の水で洗浄して下さい。皮膚刺激がある時は医師の手当を受けて下さい。  
眼に入った場合は水で15分間以上洗浄して下さい。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して洗浄して下さい。その後医師の手当を受けて下さい。  
衣類にかかった場合、直ちに、すべての汚染された衣類を脱いで下さい。汚染された作業衣は作業場から出さないで下さい。  
ばく露又はその懸念がある場合は医師の手当を受けて下さい。  
汚染された衣類は再使用する場合は洗濯して下さい。
- [保管] : 換気の良い冷暗所に保管して下さい。
- [廃棄] : 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理して下さい。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名	水酸化カルシウム	水
成分及び含有量	15.5～26.5wt%	73.5～84.5wt%
化学式又は構造式	Ca(OH) <sub>2</sub>	H <sub>2</sub> O
CAS No.	1305-62-0	7732-18-5
官報公示整理番号	1-181	設定されていない
化審法・v安衛法	適用外	適用外

### 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気の有る場所で安静に保つ。その後医師の手当を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服や靴を脱がせ、速やかに付着部を多量の水と石鹼水で十分に洗い流す。その後医師の手当を受ける。
- 眼に入った場合 : 直ちに清浄な流水で15分間以上眼を洗浄した後、眼科医の処置を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄する。その後医師の手当を受ける。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 吸引した場合は咽頭痛、咳、灼熱感、発赤  
皮膚に触れた場合は刺激、発赤、ざらつき、痛み、皮膚の乾燥、薬傷、水泡  
眼に入った場合は発赤、痛み、重度の薬傷  
飲み込んだ場合は灼熱感、腹痛、胃痙攣、嘔吐
- 応急措置をする者の保護 : 救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。
- 医師に対する特別な注意事項 : 安静と医学的経過観察が不可欠。眼の中で水分やたんぱく質と反応して生成した酸化カルシウムの塊は水洗浄で除去するのは困難。医師の手で除去が必要。

## 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 本品は不燃性があるため、周辺火災に適した消火剤を用いる。  
 使ってはならない消火剤 : 特に情報はない  
 特有の危険有害性 : 本品自体、燃焼性はないが、火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガス及びヒュームを発生するおそれがある。  
 特有の消火方法 : 危険でなければ火災区域から本品を移動する。  
 少量の場合は、乾燥砂等で被覆し、窒息消火する。  
 消火活動は、有効に行えるもっとも遠い距離から、無人ホース保持具やモニター付ノズルを用いて消火する。  
 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、適切な空気呼吸器を含め、適切な化学用保護衣を着用する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、  
 保護具及び緊急時措置 : 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場合の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業をしない。  
 環境に対する注意事項  
 回収/中和 : 環境への影響を起こさないよう、河川などに排出しない。  
 乾燥砂、土、おかくず、ウエス等に吸収させて、回収する。  
 こぼした場所は拭き取った後、大量の水で洗い流す。  
 二次災害の防止策 : すべての発火源や可燃性物質を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。こぼれた場所は滑りやすいために注意する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い  
 技術的対策(局所排気・全体排気) : 皮膚、眼との接触を避けるため、適切な保護具を着用する。  
 長時間または反復の暴露を避ける。  
 漏れ、あふれ、飛散しないように取扱い、ミスト、蒸気の発生を少なくし、換気を十分にする。  
 取り扱う場合は局所排気内、又は全体換気のある場所で取り扱う。  
 安全取扱注意事項 : 取扱い後はよく手を洗いうがいをする。  
 飲み込みを避けること。ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。眼、皮膚、衣服との接触を避ける。  
 保管  
 安全な保管条件 : 換気の良い冷暗所に保管する。

## 8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 蒸気又はヒュームやミストが発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに、眼の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置し、その場所を表示する。  
 管理濃度 : 未設定  
 許容濃度 : 未設定  
 日本産業衛生学会(2014年版) : 未設定  
 ACGIH TLV(2010年版) : 未設定  
 保護具  
 呼吸用保護具 : 防毒マスク、自給式呼吸器(火災時)  
 手の保護具 : 不浸透性保護手袋  
 眼の保護具 : 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)  
 皮膚及び身体の保護具 : 不浸透性前掛け、不浸透性作業衣、保護長靴

## 9. 物理的及び化学的性質

- 外 観 : 灰白色のスラリー液  
 臭 い : データなし  
 臭いのしきい(閾)値 : データなし  
 p H : 強塩基性  
 融 点 : データなし  
 沸 点 : データなし

引火点	: データなし
蒸発速度	: データなし
燃焼性	: データなし
燃焼又は爆発限界	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
比重	: 1.090～1.145
溶解度	: データなし
n-オクタノール／水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
粘度	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: 情報なし
化学的安定性	: 通常の取扱条件では、安定である。
危険有害反応可能性	: 強塩基であり、酸と激しく反応し発熱する。 アンモニウム塩と反応してアンモニアを生成し、火災の危険性をもたらす。ある種のプラスチック、ゴム、被膜剤を侵す。亜鉛、アルミニウム、スズ、鉛などの金属に対して腐食性を示し、引火性/爆発性気体(水素)を生成する。
避けるべき条件	: 日光、加熱
混触危険物質	: 強酸
危険有害な分解生成物	: 酸化カルシウム、水素

## 11. 有害性情報

急性毒性	: データなし 水溶液としてのデータはない。 水酸化カルシウムとしては 経口 LD <sub>50</sub> : 7,340mg/kg (ラット) 経皮 LD <sub>50</sub> : 7,300mg/kg (マウス)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 眼及び気道を含むすべての身体表面暴露に対し中程度の刺激性を示すと記述 (ACGIH, 7th, 2001)
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性	: ヒト眼に対して moderate, severe, corrosive な刺激を示すとの記述 (ACGIH, 7th, 2001; IUCLID, 2000; HSDB, 2005; ICSC (J), 1997; SITTIG, 4th, 2002; HSFS, 2005)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性、単回ばく露	: ヒト呼吸器、気道を刺激し肺水腫を引き起こすとの記述 (ACGIH, 7th, 2001; HSDB, 2005; ICSC (J), 1997; SITTIG, 4th, 2002; HSFS, 2005)
特定標的臓器毒性、反復ばく露	: Priority 2においてヒト肺を冒すことがあるとの記述 (ICSC (J), 1997; SITTIG, 4th, 2002)
吸引性呼吸器有害性	: データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
-------	-----------------------------------

## 1 4. 輸送上の注意

## 国際規制

海上規制情報 : IMOの規則に従う。  
 UN No. : 1760  
 Proper Shipping Name. : CORROSIVE LIQUID, N. O. S.  
 Class : 8  
 Packing Group : III  
 Marine Pollutant : Not applicable  
 Transport in bulk according to MARPOL 73/79, Annex II, and : applicable

航空規制情報 : ICAO/IATAの規則に従う。

UN No. : 1760  
 Proper Shipping Name. : CORROSIVE LIQUID, N. O. S.  
 Class : 8  
 Packing Group : III

## 国内規制

陸上規制情報 : 該当しない  
 海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。  
 国連番号 : 1760  
 品 名 : その他の腐食性物質（液体）（他の危険性を有しないもの）  
 国連分類 : 8  
 容器等級 : III  
 海洋汚染物質 : 非該当  
 MARPOL 73/78 附属書II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 : 該当  
 航空規制情報 : 航空法の規定に従う。  
 国連番号 : 1760  
 品 名 : その他の腐食性物質（液体）（他の危険性を有しないもの）  
 国連分類 : 8  
 容器等級 : III  
 特別安全対策 : 輸送に際しては直射日光を避け、漏出のないことを確認する。  
 緊急時応急措置指針番号 : 該当しない

## 1 5. 適用法令

消 防 法 : 非該当  
 労働安全衛生法 : 水酸化カルシウム（通知対象物）  
 毒物及び劇物取締法 : 非該当  
 化学物質管理促進法（P R T R法） : 非該当  
 船舶安全法 : 腐食性物質（危規則第2、3条危険物告示別表第1）  
 航空法 : 腐食性物質（施行規則第194条危険物告示別表第1）  
 港則法 : 腐食性物質（施行規則第12条）

## 1 6. その他の情報

引用文献等 : 1 6 6 1 5 の化学商品（化学工業日報社）  
 GHS分類結果データベース（独立行政法人製品評価技術基盤機構）

- 
- ・本SDS記載内容のうち、含有量、物理化学的性質等の値は保証値ではありません。
  - ・注意事項等は通常的な取り扱いを対象としたもので、特殊な取り扱いの場合はその点を配慮下さい。
  - ・危険物有害性情報等は必ずしも十分とは言えないので、本SDS以外の資料や情報も十分に確認の上、ご利用ください。

## \*改定内容

（第7版）：1. 化学品及び会社情報 推奨用途及び使用上の制限の追加